2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月11日

上場会社名　　ザ・パック株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　3950　　URL　https://www.thepack.co.jp
代表者　　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）仲村　直樹
問合せ先責任者　（役職名）　常務取締役コーポレート本部長　（氏名）下村　郁夫　　（TEL）06(4967)1221

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	76,810	7.3	4,908	14.7	5,115	13.1	3,442	△0.1
2025年12月期第３四半期	71,603	2.2	4,278	△13.5	4,521	△11.8	3,446	△13.5

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期 3,554百万円 （7.4%）　2025年12月期第３四半期 3,308百万円 （△9.9%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	62.37	62.35
2025年12月期第３四半期	61.13	61.11

(注)当社は、2025年７月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「１株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	95,981	76,440	79.6
2025年12月期	104,212	76,997	73.9

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　76,421百万円　　2025年12月期　76,978百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	58.00	ー	22.00	ー
2026年12月期	ー	17.00	ー		
2026年12月期（予想）				25.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
当社は、2025年７月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。「2025年12月期」の第２四半期末配当金については、株式分割前の実際の配当金の額を記載しており、年間配当金合計は「ー」と記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の「2025年12月期」の１株当たり第２四半期末配当金は19円33銭、年間配当金合計は41円33銭になります。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	2.8	7,500	4.1	7,700	2.2	5,300	△12.0	95.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	59,700,000 株	2025年12月期	59,700,000 株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	5,494,157 株	2025年12月期	4,115,930 株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	55,187,759 株	2025年12月期３Ｑ	56,369,073 株

(注)当社は、2025年７月１日付で普通株式１株につき３株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因で大きく異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関しましては、【添付資料】Ｐ．３「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、賃上げ率が今年も高い水準を維持し、政府の物価高経済対策などにも下支えされ、景気は緩やかに回復しています。物価上昇の鈍化などを背景に財消費が下げ止まりつつあるほか、娯楽関連を中心にサービス消費は堅調に推移し、個人消費は緩やかな増加基調にあります。しかし、中東情勢を巡る不透明感や、円安の進行に伴う物価再上昇への懸念が消費者マインドを下押しする大きなリスクとなっています。

米国の経済は、企業によるAI（人工知能）関連の設備投資やインフラ投資が引き続き強力な推進力となっています。一方で、個人消費も全体としては底堅さを保っているものの、中東情勢の緊迫化に伴う原油高やサプライチェーンの混乱による物価高の影響から、購買力の格差による消費の二極化が進んでいます。

中国の経済は、輸出とハイテク産業投資の力強さが下支えとなった一方で、節約志向の高まりや雇用環境の不透明感に伴う個人消費の伸び悩み、さらには不動産不況の長期化が重しとなり、徐々に減速感が強まる展開となりました。

このような状況の中、当社グループは、持続可能な成長に向けた強固な事業基盤・経営基盤の構築のため、「パーパスの実現に向けた足場固め」を中期経営計画のスローガンに掲げ、連結売上高1,200億円、営業利益100億円（2030年12月期）の達成を目標としており、グループ全社が結束して新たな市場開拓、積極的な設備投資並びに人的投資、品質管理体制の構築などにより業績の向上に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は768億10百万円（前年同期比7.3%増加）、営業利益は49億８百万円（前年同期比14.7%増加）、経常利益は51億15百万円（前年同期比13.1%増加）となり、前年同期に政策保有株式の売却益が膨らんだ反動で、親会社株主に帰属する四半期純利益は34億42百万円（前年同期比0.1%減少）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

（紙加工品事業）

当第３四半期連結売上高の73.2%を占めるこの部門では、紙袋（対連結売上高構成比29.3%）は、国内向けの販売が堅調に推移しただけでなく、海外向けの販売も伸び、同上売上高は225億18百万円（前年同期比3.7%増加）となりました。

紙器（同上構成比25.6%）は、食品を中心とした土産物市場やテイクアウト・宅配向けの食品容器並びにＥＣ市場向けパッケージの販売が堅調に推移した結果、同上売上高は196億49百万円（前年同期比4.3%増加）となりました。

段ボール（同上構成比16.9%）は、テイクアウト用をはじめとした食品容器、ＥＣ市場向け配送パッケージ及び輸送梱包の販売が好調に推移し、同上売上高は129億62百万円（前年同期比25.1%増加）となりました。

印刷（同上構成比1.4%）は、日幸印刷株式会社の吸収合併に伴うセグメント区分の見直し等により、同上売上高は10億57百万円（前年同期比27.9%減少）となりました。

以上により、この部門の売上高は561億88百万円（前年同期比7.2%増加）となり、営業利益は45億29百万円（前年同期比11.4%増加）となりました。

（化成品事業）

当第３四半期連結売上高の13.0%を占めるこの部門では、衛生用品向けパッケージの販売が減少しましたが、イベント用の手提げ袋や食品向けの多様な軟包装が伸長したことで、同部門の売上高は100億29百万円（前年同期比5.2%増加）となり、営業利益は５億88百万円（前年同期比18.1%増加）となりました。

（その他）

当第３四半期連結売上高の13.8%を占めるこの部門では、高価格帯商品向けやイベント用のソフトバッグの販売が好調に推移し、同部門の売上高は105億93百万円（前年同期比9.5%増加）となり、営業利益は８億30百万円（前年同期比19.0%増加）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ82億31百万円減少し、959億81百万円となりました。これは主に「土地」38億41百万円の増加、「現金及び預金」78億87百万円・「受取手形及び売掛金」58億13百万円の減少によるものです。

当第３四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ76億73百万円減少し、195億41百万円となりました。これは主に「電子記録債務」28億77百万円・「支払手形及び買掛金」23億70百万円・「未払法人税等」11億84百万円の減少によるものです。

当第３四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ５億57百万円減少し、764億40百万円となりました。これは主に「自己株式」19億45百万円・「利益剰余金」12億65百万円・「為替換算調整勘定」１億７百万円の増加によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表いたしました内容から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,061	16,173
受取手形及び売掛金	24,809	18,996
有価証券	2,000	2,498
商品及び製品	7,271	8,729
仕掛品	1,139	1,394
原材料及び貯蔵品	1,033	1,170
その他	1,384	1,488
貸倒引当金	△32	△32
流動資産合計	61,667	50,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,338	8,192
機械装置及び運搬具（純額）	9,786	8,960
工具、器具及び備品（純額）	329	299
土地	11,238	15,080
建設仮勘定	659	1,179
有形固定資産合計	30,352	33,712
無形固定資産	4,310	4,793
投資その他の資産		
投資有価証券	6,114	5,232
退職給付に係る資産	1,017	1,033
繰延税金資産	123	104
その他	679	739
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	7,881	7,057
固定資産合計	42,544	45,563
資産合計	104,212	95,981

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,593	11,222
電子記録債務	6,014	3,137
１年内返済予定の長期借入金	128	160
未払法人税等	1,510	326
賞与引当金	309	794
役員賞与引当金	50	36
その他	4,313	2,777
流動負債合計	25,920	18,455
固定負債		
長期借入金	334	200
退職給付に係る負債	306	309
繰延税金負債	623	544
その他	30	30
固定負債合計	1,294	1,085
負債合計	27,214	19,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	3,164	3,175
利益剰余金	72,954	74,219
自己株式	△4,485	△6,430
株主資本合計	74,186	73,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,624	1,675
繰延ヘッジ損益	－	1
為替換算調整勘定	625	733
退職給付に係る調整累計額	541	493
その他の包括利益累計額合計	2,791	2,903
新株予約権	18	18
純資産合計	76,997	76,440
負債純資産合計	104,212	95,981

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	71,603	76,810
売上原価	54,042	58,049
売上総利益	17,561	18,761
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,937	3,102
給料及び手当	3,311	3,502
役員報酬	396	371
貸倒引当金繰入額	22	0
賞与引当金繰入額	416	416
役員賞与引当金繰入額	41	37
退職給付費用	156	148
減価償却費	582	571
賃借料	2,429	2,685
その他	2,987	3,017
販売費及び一般管理費合計	13,282	13,852
営業利益	4,278	4,908
営業外収益		
受取利息	106	98
受取配当金	100	89
受取賃貸料	30	33
その他	41	71
営業外収益合計	279	291
営業外費用		
支払利息	6	4
賃貸収入原価	4	5
為替差損	11	60
自己株式取得費用	0	4
その他	12	9
営業外費用合計	36	84
経常利益	4,521	5,115
特別利益		
投資有価証券売却益	488	1
固定資産売却益	0	－
特別利益合計	488	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	9
投資有価証券評価損	－	22
災害による損失	－	40
特別損失合計	3	72
税金等調整前四半期純利益	5,006	5,044
法人税、住民税及び事業税	1,634	1,676
法人税等調整額	△73	△74
法人税等合計	1,560	1,602
四半期純利益	3,446	3,442
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,446	3,442

（四半期連結包括利益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	3,446	3,442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	50
繰延ヘッジ損益	△2	1
為替換算調整勘定	△184	107
退職給付に係る調整額	△23	△47
その他の包括利益合計	△137	112
四半期包括利益	3,308	3,554
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,308	3,554

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	紙加工品事業	化成品事業	計				
売上高							
紙袋	21,719	－	21,719	－	21,719	－	21,719
紙器	18,840	－	18,840	－	18,840	－	18,840
段ボール	10,365	－	10,365	－	10,365	－	10,365
印刷	1,467	－	1,467	－	1,467	－	1,467
化成品パッケージ	－	9,534	9,534	－	9,534	－	9,534
その他	－	－	－	9,677	9,677	－	9,677
顧客との契約から生じる収益	52,392	9,534	61,926	9,677	71,603	－	71,603
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	52,392	9,534	61,926	9,677	71,603	－	71,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	52,392	9,534	61,926	9,677	71,603	－	71,603
セグメント利益	4,067	498	4,565	697	5,263	△985	4,278

（注）１．「その他」は用度品、その他雑貨であります。

２．セグメント利益の調整額△985百万円には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去△55百万円及び全社費用△929百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	紙加工品事業	化成品事業	計				
売上高							
紙袋	22,518	－	22,518	－	22,518	－	22,518
紙器	19,649	－	19,649	－	19,649	－	19,649
段ボール	12,962	－	12,962	－	12,962	－	12,962
印刷	1,057	－	1,057	－	1,057	－	1,057
化成品パッケージ	－	10,029	10,029	－	10,029	－	10,029
その他	－	－	－	10,593	10,593	－	10,593
顧客との契約から生じる収益	56,188	10,029	66,217	10,593	76,810	－	76,810
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	56,188	10,029	66,217	10,593	76,810	－	76,810
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	56,188	10,029	66,217	10,593	76,810	－	76,810
セグメント利益	4,529	588	5,117	830	5,948	△1,039	4,908

（注）１．「その他」は用度品、その他雑貨であります。

２．セグメント利益の調整額△1,039百万円には、各報告セグメントに配分していないセグメント間取引消去△21百万円及び全社費用△1,017百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の管理部門に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年２月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,426,700株の取得を行いました。この結果、当第３四半期連結累計期間において自己株式が1,999百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が6,430百万円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）
減価償却費	2,151百万円	2,123百万円
のれんの償却額	9百万円	14百万円